



「生団連ニュースレター」は、国民の生活・生命を守るという使命を追求する生団連の取り組みに関する最新情報を、日頃ご支援いただいている皆様にお伝えしています。

平成26年12月号
国民生活産業・消費者団体連合会

平成26年度 第1回臨時総会 / 第3回常務理事会・理事会合同会議

～ 臨時総会にて役員を選任を可決、常務理事会・理事会合同会議にて今期の活動状況などを報告 ～

11月12日東京會館にて、平成26年度 第1回臨時総会及び第3回常務理事会・理事会合同会議を開催しました。常務理事会・理事会合同会議では、59名の副会長・常務理事・理事（代理出席含む）の皆様にご出席いただきました。

臨時総会では、一般社団法人札幌消費者協会の入会及び同協会会長の桑原昭子様の副会長選任についてお諮りし、異議なく可決承認されました。

常務理事会・理事会合同会議に先立ち、第95代内閣総理大臣 野田佳彦先生よりご高話をいただきました。その後、委員会をはじめとする活動状況の報告が行われました。さらに役員会の開催日程を確認し、会員の異動について意義なく可決承認されました。



初参加のご挨拶



堺市消費生活協議会
山口典子会長



一般社団法人
札幌消費者協会
桑原昭子会長

～ 高話 ～

第95代内閣総理大臣

野田 佳彦 先生

「野田政権が目指したもの」

自らの政権運営で目指したポリシーと、今後の日本の政治に求められるものについてお話をいただきました。



生団連は清水信次会長(株)ライフコーポレーション会長の発案で設立、「国民の生活・生命を守る」ことを使命とする団体です。会員は500超の企業、業界団体、消費者団体から構成され、日本の直面する諸課題解決に向け生活者視点で取り組んでいます。

【お問合せ先】

国民生活産業・消費者団体連合会 清水(栄)／宮田 ☎:03-3662-5240 ✉:jimu@seidanren.jp
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル7階 URL: <http://www.seidanren.jp/>

平成26年度東京都帰宅困難者対策フォーラム

～生団連 災害対策委員会の取り組みや『大震災への備え事例集』を紹介～

11月6日、都庁第一本庁舎9階防災センターにおいて、帰宅困難者対策フォーラムが開催されました。同フォーラムは東京都が主催し、地域の帰宅困難者対策取り組みを推進するため、区市町村や事業者等との連携強化を目的に平成25年度から開催されています。第3回となる今回は、都内区市町村帰宅困難者対策事業担当者及各駅前滞留者対策協議会員ら約70名が参加し、お互いの防災取り組みについて発表・情報交換を実施しました。

生団連も、6月に発行した『大震災への備え事例集』をきっかけに都の防災担当者から依頼により同フォーラムに参加し、事務局から災害対策委員会の発足の経緯とこれまでの取り組みを説明するとともに、委員会で制作した『大震災への備え事例集』を出席者に紹介・配布しました。

説明を通じて、生活産業と消費者団体が一体となっ

て取り組んでいる生団連の特色や、その会員企業・団体が地域で果たす防災の役割をお伝えし、生活者視点での防災取り組みの重要性を強調しました。今後とも様々な機会を通じて、会員企業・団体の皆様の取り組みをご紹介していくなど、積極的な広報活動に取り組んでいきます。



定例勉強会開催 ～衆議院議員 内閣官房副長官 加藤勝信先生～

11月6日、憲政記念館にて国際経済研究所との共催で定例勉強会を開催しました。今月は講師に内閣官房副長官で衆議院議員の加藤勝信先生をお招きし、「安倍政権700日」というテーマでご講演をいただきました。安倍内閣を支える立場の方から直接聴ける様々な政策についてのわかりやすい解説に、参加者は熱心に耳を傾けていました。

続いてゲストとして参加された政治評論家の浅川博忠先生からは、政局通の浅川先生ならではの安倍政権成立までの話や今後の課題についてお話がありました。



加藤 勝信 先生



浅川 博忠 先生

“もったいないゼロプロジェクト” Webサイトオープン

食品廃棄対策委員会の取り組みとして、家庭における食品廃棄削減を目指して「もったいないゼロプロジェクトWebサイト」が立ち上がります。このサイトでは“もったいない”食品廃棄を少しでも減らすために必要な「意識」「知識」「管理」について、様々な情報を掲載しています。今後はこのサイトを活用しながらイベントやキャンペーンを通じて周知啓発を行ってまいります。Webサイトの詳細については、次号にてお知らせいたします。

◎もったいないゼロプロジェクトWebサイトURL
<http://www.seidanren.jp/mottainaizero/>

